

2012年 4月 7日  
NPO法人 森を再生する会**水源の森を守ろう！ 取り戻そう！**

## — 目 次 —

平成24年度の森を再生する会展望・1P	山作業苦労話 笑顔の裏に・・・8P
中根周歩先生特別寄稿・・・2P	三河湖植樹祭・・・9P
随想・・・6P	お知らせ・・・10P
畠山重篤さん特別寄稿・・・7P	

**平成24年度の森を再生する会展望**

皆さんの熱い思いを受けて24年度も力強く活動を継続したいと決意しているところです。本年度の活動の主なものを展望してみます。

**① 藤原一繪先生を招いて春の植樹祭**

本年度も国土緑化推進機構助成事業として春の植樹祭を次のように行います。作手での植樹祭は最後になると思います。特に今回は、藤原一繪先生を講師にお招きしご指導いただきます。お誘いあわせの上、大勢ご参加ください。

- 日時 5月27日（日）8：00～16：00（少雨決行）
- 場所 新城市作手高里 小川智彦氏所有山林
- 内容 広葉樹植樹、水源の森づくり講演
- 講師 藤原一繪先生
- 参加費 800円、小学生400円、幼児無料（保険料、食事代等）
- 募集人員 100名
- バス マイクロバス4台（自家用車での参加も可）
- 集合場所 安城医師会碧海安城看護専門学校（安城医師会館）
- バス利用者および小学生は振込用紙にその旨記入してください。

## ② 巻き枯らし間伐の有効性の調査

本会で購入した「西納庫・水源の森」スギ林は、巻き枯らし間伐を行います。子供や女性でも十分できる間伐方法です。間伐の能率も伐採する間伐よりも数倍効率的です。ただ現在、林野庁は間伐方法として認めていません。ということは、間伐助成の対象になっていないということです。そこで広島大学の中根周歩先生のご指導の下に「巻き枯らし間伐の有効性の調査」を実施する予定です。どのような方法で巻き枯らし間伐をすることが有効なのかを明らかにしたいと思います。実施する時期が来ましたら皆さんに参加のお知らせをします。

## ③ 矢作川水源の森トラストプロジェクト(NPO法人エコネットあんじょう)

NPO 法人森を再生する会は実践環境団体「NPO 法人エコネットあんじょう」の会員でもあります。私たちが進めている水源の森構想をNPO法人エコネットあんじょう幹事会で話をしたところ、「矢作川水源の森トラストプロジェクト」という名称のプロジェクトが去る3月17日に発足しました。流域住民の寄付により、長野県根羽村にある矢作川上流の水源の森 36haを購入し、トラスト地として永久に保全するものです。上流・中流・下流の住民は水を通して深くつながっています。「流域は一つ、運命共同体」なのです。市民の、市民による、市民のための、「水源の森・市民の森」をつくる画期的な運動です。私たちNPO 森を再生する会が進めてきた「水源の森づくり」運動がより発展的に行われることをうれしく思います。寄付方法等詳しくは、ホームページ (<http://www.econetanjo.org/>) をご覧ください。

## ④ 安城市内18万本植栽 (NPO法人いのちの森づくり実行委員会)

人間が一人呼吸して生きていくために必要な樹木の数を教えてほしい、と元横浜国立大学教授の藤原一繪先生にお尋ねしたところ、直径30センチメートルの広葉樹が一人1本必要だと答えられました。そこで私が、「安城市の人口の本数だけ広葉樹を植えよう！」と提唱していたところ、安城ライオンズクラブの中川暉国さんがクラブのアクティビティとして取り上げていただきました。今では、安城ライオンズクラブ、安城南ライオンズクラブ、安城中央ライオンズクラブが一緒になって「NPO 法人いのちの森づくり実行委員会」を設立し毎年市内で植樹祭を行っています。この取り組みについてのNPO 法人森を再生する会会員のみなさんへの広報が足りなかったことを反省しています。

## ⑤ 三位一体でいのちの森づくり

以上触れてきましたように、私たち「NPO 法人森を再生する会」の活動に呼応するかのようになり、「NPO 法人いのちの森づくり実行委員会」「NPO 法人エコネットあんじょう・矢作川水源の森トラストプロジェクト実行委員会」がそれぞれいのちの森づくりの活動をはじめました。とても心強い気持ちです。幸い3つの組織・活動はそれぞれ特徴がありますが、「いのちの森づくり」という理念は同じです。3つの組織が連携を取り合い三位一体で活動することにより、いのちの森づくりが大

きく結実することを願っています。

(文責・神谷輝幸)

### 中根周歩先生特別寄稿 1 (数回に分けて掲載)

#### 「水源の森」の保全の意義

「水源の森」とは、”流域にあって、その保水機能(水源涵養機能)が高いのが、一般的に森林であり、しかも人工林よりは自然林で、人工林でも適正(強)間伐によって改善される、ということでしょう。それは、保水機能が主に土壌の保水力(雨水の浸透しやすさと貯水できる容量)に依存していることによります。

これらのことを、河川流域の全体においても、科学的のくわしく示した例が四国・吉野川においてあります。すなわち、過去40年間の流域の森林の変貌(自然林の伐採、人工林化、その成長と放置)によって河川流量(特に洪水時のピーク流量)が大きく変動するという関係を解析した例です(中根・中根 2004)。具体的には、1960～1970年代の一斉拡大造林による流域の森林伐採面積のピーク直後に、洪水時におけるピーク流量の最大値(基本高水流量)がもっとも大きくなりました(図12)。

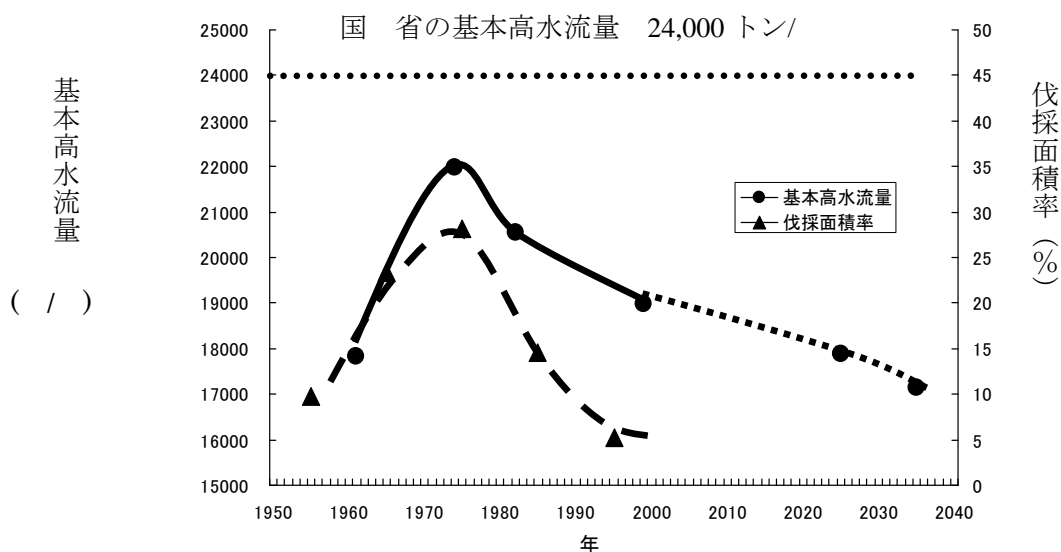


図12 吉野川流域における過去10回(1954～1976年)の洪水時の雨量を150年に一度の洪水(440/2日間)にきして、年代(1961、1974、1982、1999年)のシナリオで予測された基礎での年代の最も高いピーク流量(基本高水流量)と流域の森林の伐採面積の推移。注:流域の人工林の40%を2005～2015年に適正に間伐した場合、また2025年までに100%適正に間伐した場合の流域の平均浸透能から推定されるシナリオで予測された基本高水流量。

このことは、この期間、流域森林の洪水機能（「水源の森」の機能）が低下したことで、そしてその後人工林の成長によって、洪水機能が回復していること、しかし、現在、1960年代以降の頃までは回復していないことなどを示しているということです（図12）。

さらに、本県川川の上流域の流である川川においても、吉野川と同様に一斉拡大造林が1950年代後半から1970年代にかけて進み、流域の90%の森林が伐採され、70%ほどが人工林化しました。それによって、一斉拡大造林時期に流域全体の雨水貯留力が大きく減少したことが明かされています（図13）。すなわち、この時期に流域の保水機能が大きく低下していることを示しているわけです。

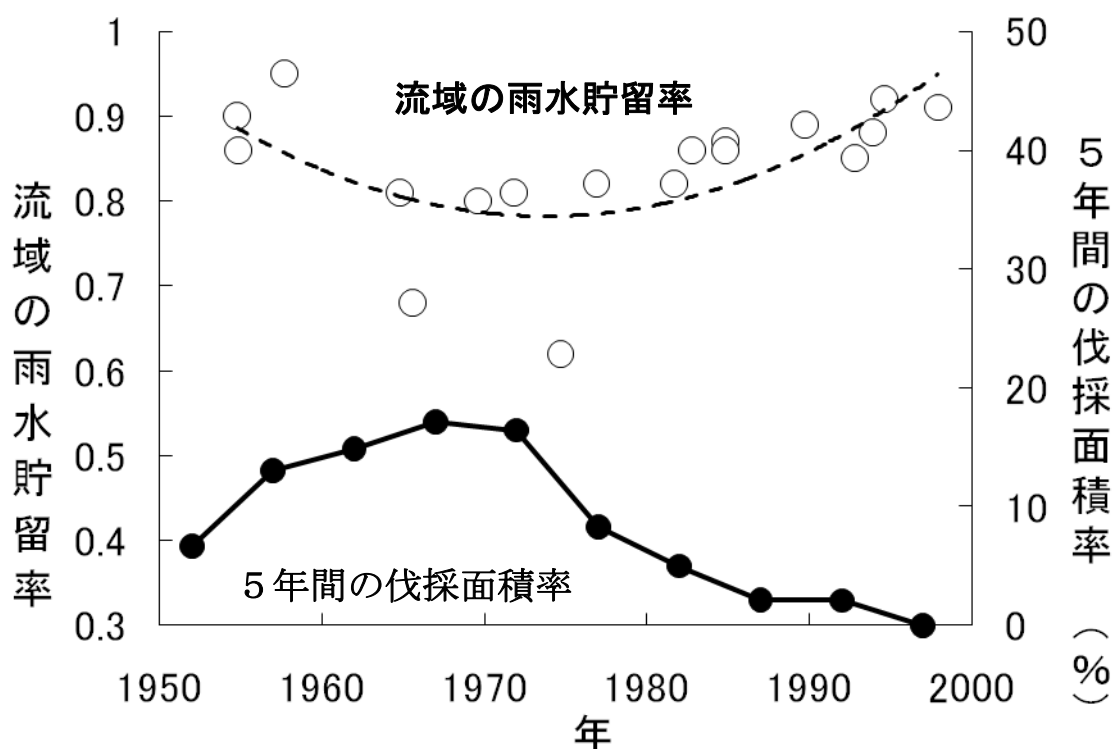


図13 本県川川流域の5年間の森林伐採面積率と流域の雨水貯留率（加雨量：りめから積まれた雨量が200mmとなった時での流域に貯蓄されている雨水の率）との関係。雨水貯留率が低いということは、流域の土壌の保水力（貯水力）が低下しているということになります。

このような流域の保水機能の低下が、吉野川、川川に限り、矢作川、一斉拡大造林が推進された全国の河川流域でみられたと思われます。

そして今、その後の人工林の放置や、森林域の荒廃、地盤の地化が、流域の水源涵養機能の保全と向上から、現在解決すべき課題と見えます。

河川の流域の水（保水）機能はその流域の地質、土壌、土地利用、植生などによって決定されており、さらにそこに生活する人の生活活動、社会・

文化活動の を受けているわけです。そのため、河川の 水は流域全体を 野に入れ、その自然と人 の生活を めて 合的に えて行く必要があります。 国においては、中、上流域の大 分を めている森林の環境保全機能を 持しながら、特に、その水源涵養機能に 目し、流域の 理保全、利用の施 が められていると えましょう。

しかし、少なくとも河川の最上流域は、「水源の森」としての機能が低い森林（自然の成 、原生林）が保存される きで、また保存されている場合が いというのが現実です。

矢作川流域においても、特に山地流域において、保水機能（水源涵養機能）の高い「水源の森」を保全して行くこと、また流域の森林（特に人工林）の保水機能を改善して行くための 理が められていると えます。また、中 山 地域では、高 800m 以上の山地はブ 林 であり、成長の さを植林の目安とする場合、 しい の気 や生 期間の少なさから、人工林事業には適さないと えます。

よって、最上流域（ 高 1000 以上）の原生的な自然林が保全されている長野県根羽村の村有林 36 クール（ 7）を 来永 、自然林として保全して く取組み（トラスト）は、上流から下流にいたる全流域で生活する人 の 水や生活基



7A 根羽村の「水源の森」の取り図（ ）

を保 する一つの象徴であり、時機を たものであると されるものです。



図 7 B 根羽村の「水源の森」から流 する、 時の かな流

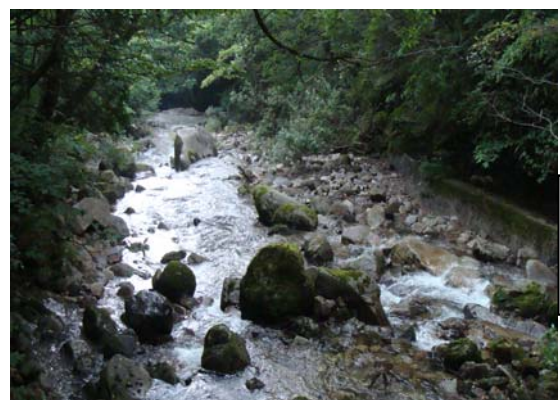


図 7 C. 根羽に、かつて間伐している

## 随想

神谷 輝幸

### 安城市における地下水・き水についての

安城市内の、海、山には今もき水が採られる。野海のみき水ほど大量のき水ではないが、き水に触れてみると、でもかくらかな流れで動する。

安城市の水の30%は地下水からくみ上げているという。この地下水はかなりの量だから地下には地上とは別にもう一つの川の流れることを想定してしまう。そうだとすると、この地下水はく山に降った雨が地下深くまでしみ込み、じっくり長い年月をかけて下り、地下水となって下流までいき、市で利用されているのではないのだろうか。



市の海をねたとき、聞いた話がある。海にありあるで作ったはその、海でくまで運んだという。造はよい水がなければできない。海にありあるはどうしてよい水が手に入るのだろうか。地元の話では、山に降った雨がしみ込み、その地下水は勢をくって市のまでするというのだ。

三海に海にもると、山からの地下水が海でき水としてしているのが採れるという。

そのような事実から、「安城市が水としてくみ上げている地下水は、くの山にしみ込んだ地下水が長い年月をかけてたどりいたものである。」という話が成り立つ。どなたかこの話の正しいことを明してもらえないだろうか。明できれば、水源の森が市の人たちにとってより重要な意を持つのですが.....。



**国連森林フォーラム (UNFF) が森林の育成や林業の健全な発展などに貢献した人物に  
対して表彰する「フォレスト・ヒーローズ」を、理事長 畠山重篤が受賞いたしました！**

師 スト ーローに

畠山 重篤



年 11 月 然林野庁から 話が有りました。  
国連が で森林保護活動をしている民間人を、5 大 から一  
人 つ スト ーローとして する事になり、 国から一  
人 つ 者を すことになりました。そこで日本代 にあなた  
を したいのですがよろしいでしょうか というのです。  
への応 という意 もあると直 しましたが、 師を  
スト ーローに として林野庁が んでくれたことに し しました。  
森は海の 人” 運動を してから 十四年目を え、小中学校の教科 にも載  
っていますので、日本では森と海はつながっているとの理解は深まってきました。  
しかし、 ではどうでしょう。まして森林保護活動をしている人は大勢いますから  
の 5 人に入るのは しいのではと思っていました。  
1 月になってアジアの 3 人の中に入っているという知らせが有りました。そして、  
アジア代 、 の 5 人の一人に内定しましたとの連 が有ったのです。  
十数年間行動をともししてきた 間と びを分かち合いました。  
2 月 9 日、 ー ークの国連本 の会 場で です。  
ブラジル、ロ ア、 メルーン代 は、 伐、 発に対 し森を った文 通り  
の ーローです。  
アメ の女子高生は、 南アジアの ーム 子プランター ンの を く  
いて受 しました。  
環境 関係の は、自然を すると対決し ち ったということが さ  
れる事が いのです。  
しかし私たちの 森は海の 人” 運動は、対決 勢や をなる く け、 れた  
山への植林や子供たちへの環境教 など、いわ 、 人の心に木を植える” 活動を  
り強くおこなってきたのです。  
そこをどう してくれるかに関心が有りましたが、 査員の は私たちの活動  
をかなり深く分析しており、ホッとしました。  
森は海の 人” という 的スロー ンの 利だと思いました。  
受 あいさつでこう いました。  
森には 3 つの があると思います。山の森、海 と森植 プランクトンの森、  
そして川の流域に らす人間の心の中の森です。

環境 で最も大 なのは、心の森だと思います。これからも 人の心に気を植える活動を継続していくつもりです。

会場からは、最も大きな 手をいただきました。

### 山作業苦労話 笑顔の裏に

長 吉

山の作業は、毎月第四日 日、月一回の集いですが、毎回 10 数名集まり、 気あ  
いあい おいしい 気を、吸いながら、 を流している事は、すでに皆 ごぞんじの  
ことですが、 春と 植樹祭の、 台づくり、 地 な作業です。山の中 面を上っ  
たり下ったり、足にくる、 の食事で、下に りる  
のですが、しんどいので、山の上で ましたい気分  
です。植樹祭でス ッ が、笑顔を せながら、  
木を運んだり、 ル を えて っておりますが、  
「植樹祭」と祭の 葉があり、みんなが 目してい  
るので、 り って作業しますが、実は、大変です。  
集まる人 は、月一回元気に、動けるように自主ト



、体力をつける必要あり、日 それぞれ 歩した  
り、運動し、 体を動かす に、心がけております。 3月 の の った い日の作業 1  
私事ですが、私も の 、 日に 度の、 歩を実施しております。家の 所が、  
自然に まれており（ も いようで、 です）気持ちよく、歩けます。そして  
所に250Mの高さの名称 山があり、中 が、 市指定の、 ークコース  
になってます。 一回は、山の を、 り下り森林 を、かねて1時間ほど、歩い  
ております。家から、 もとまで30分、 1時間 2時間の歩きです。 に  
いのですが、以 お を、 たしなみす の、 科者の 、食事 されておしま  
すので、なんかいつでも、子供のように、おなかをすかしている な、気がする。  
けない話で、 通の人は、 歩で 地よい を流して、食 進の効 大ですが、私  
は、 みの です。森を再生する会員、笑顔の裏 には、こんな話も（食い意地は、



3月 の の った い日の作業 2

私だけですが) 毎月第四日 に、活 して  
いる会員は、春 を 体で じて、  
元気に く、今後もがん ります。今年  
も2月 26日 事 め、春の植樹祭は、5  
月 27日 (日) 作手の山で、 されます。  
今回は、 木が、少し 目の植樹祭になる  
予定( 日お しみに)、植樹場所 の 、  
山作業も、3月、4月、5月は第 日 日も  
加作業となります。 日、山上の山 が、



き っ ていれ 、目をなごましてくれるのですが、5月 ですから、山上とは え無理ですね、 しい の、山藤の が、皆 を っています。( より団子の、 の食事が、 しみの方も、おられると、思いますが、食 で、参加を、誘い水にするのは、本意ではない ) 年春、一 年春、 、植樹した、 木が、 調に っています。 認してください、重ねて、お しみに。

### 三河湖植樹祭

中

3月25日三河湖 の三河 さんで地元の方たち、 城スイ ン の子どもたち、三河 化市民 、安城まちづくり市民会 などが参加して、4回目の植樹祭を行なった。 70名の参加者が集まり マ ジ320本を三河 さん 車場南の三河湖 に植えた。地元の方たちにより 歩 が

され、その に マ ジを植樹していった。最 の植樹会で植えた の 木が1.5メートルほどに成長していた。 りで 木の目になる く られた のわきに1本1本ていねいに植えられた。植樹が わるころからはまじりの となり も加わってきた。 車場のとなりのたき で を取りながら イの原木の ち作業に取り組んだ。子どもたちは



中でトン チを るって ちに熱中していた。また、3年 に ちした原木を子供たちとともに し、そのままバー ーで わった。取り立ての はこそ イ に ないが、しっとりとした かな わいは の一 である。三河 さんの 平 や地元で れたイ を わいながら、 ジや の で られた三河湖 を ながら、心 かな時間を過ごすことができた。

三河湖は矢作川の重要な水源の一つで、アオコなどの発生により ム湖の水 下が となっていた。足助 や 下山村による EM 水 化の取り組みで、水 改善が進 と同時に、ア の 上が え、今では 川水 を上回る 高をあげている。水 化だけではなく、 施設などの に 木を植樹し山里の 的な活性化を図るため今後も継続して取り組んでいきたい。

## 平成24年度 会のお知らせ

期日：平成24年4月 28日(土)14時から

場所：文化センター 講

- ①平成23年度事業報 について
- ②平成23年度決 報 について
- ③平成24年度事業 画について
- ④平成24年度予 について
- ⑤山を購入する の について

## 植樹祭に けて今後の活動

春の植樹祭の 作業を次の日 で行います。

○4月8日(日)

○4月22日(日)

○5月13日(日)

参加する人は、安城 館 車場へ8:00集合です。 り合わせていきます。

持参、 車 500円が必要です。雨で中 の場合は、別の日を設けます。植樹祭に間に合わないようでしたら、作業日を やすこともあります。

### 寄付 の受付

次の方から寄付 をいただきました。

○中川暉国 1万円

○山本時 1万円

ありがとうございました。